

## 佐賀県生徒生活体験発表大会 定通部会長賞 小林 総司さん

生徒会顧問 発表指導担当 松本 哲

自分を語ることで 自分をを知る



生活体験発表大会は、定時制ならではの対外行事として、長い伝統を重んじてきた。私も、この機会に、これまでの経験を振り返り、生徒生活の大切さを改めて感じた。今回の発表会では、生徒会役員や、各学年の代表者が、それぞれの体験を語り、それを聞いてもらう。これは、単に発表するだけでなく、発表者自身も、自分の経験を振り返り、自分を再発見する機会になる。私は、生徒会顧問として、この発表会を、生徒生活の宝庫として、大切にしていきたい。そして、皆さんも、この発表会を通じて、自分自身を知り、成長してほしい。

二度と見られない(?)  
総司君の晴れ姿です。  
たった4年間の高校生活  
の中で、立派に輝ける瞬間  
を味わえるのはほんの  
一部の生徒だけと、それを  
味わうには、ほんの  
ちょっとの勇気が必要なんだ。



ある意味で「奇跡のスリーショット」→

今回の発表をするにあたり、自分のこと、支えてくれた家族のことに気づけたことは有意義なことでした。お父さんの愛情を知る機会を得られたことは、本当によかったと思います。お父さんの背中を見て育った小林君が、今後とも立派な大人に成長され、大きな夢を実現してほしいと思います。お父さんの優しさと小林君の心の強さが伝わってきた素晴らしい発表でした。校長 三原聖子



生活体験発表 審査コンクール 結果発表

第1位 松本 和泉(4年)

第2位 小松 楓秋(2年)

同 2位 松尾彰子 松尾祐磨  
西村康幸 前川隆徳  
(教職員の部)



松本先生からの、鬼のような指導を受けた後、涙目になってしまったとき、優しくなぐさめてくれたのが、前川先生でした。

県大会の結果報告

第一位(県知事賞) 「一人いればいい」 秋山さん(佐賀商)

第二位(県教育長賞) 「壁の向こう側」 多久島さん(有田工)

(生徒感想)

県知事賞「一人いればいい」について  
私も、今まで何度も心が折れたことがありました。とても共感できる部分がありました。聞き取りやすく、スッと話に入ることができました。自分の存在を母親に認めてもらえない悔しさや、祖母が唯一頼れるそんざいだったことなど、とても聞き応えのある発表でした。松本和泉(4年)

佐賀新聞社賞「感謝」について  
発表のつかみから、聞き取りやすい声と大きな手の動き、さらに前をまっすぐに見据えた目線と、第一印象は完璧で圧倒されました。古川正晴(4年)

全ての発表者の皆さんへ  
皆さん全て、上手に発表されていて、点数をつけるのが難しかったです。皆さんに花を…♡ 有田工の発表では、感情の変化を声のトーンの変化で表現されることで、よく伝わりました。小林君の発表も、今までの努力がうかがえた素晴らしいものでした。水野桂香(事務)



👉 真剣に聞き入るこの姿を見よ！全員が「伊万里実業高校応援団」

